

農業委員会の体制が変わります

「農地利用の最適化」をより良く果たせるようにするために

農業委員会等に関する法律の改正により農業委員会改革が行われ平成28年4月から、農業委員会の体制や役割が大きく変わりました。主な改正内容を紹介します。

1 農業委員会の新しい役割について

①担い手への農地利用の集積・集約化、②遊休農地の発生防止・解消、③農業への新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進が、必須業務に位置付けられました。

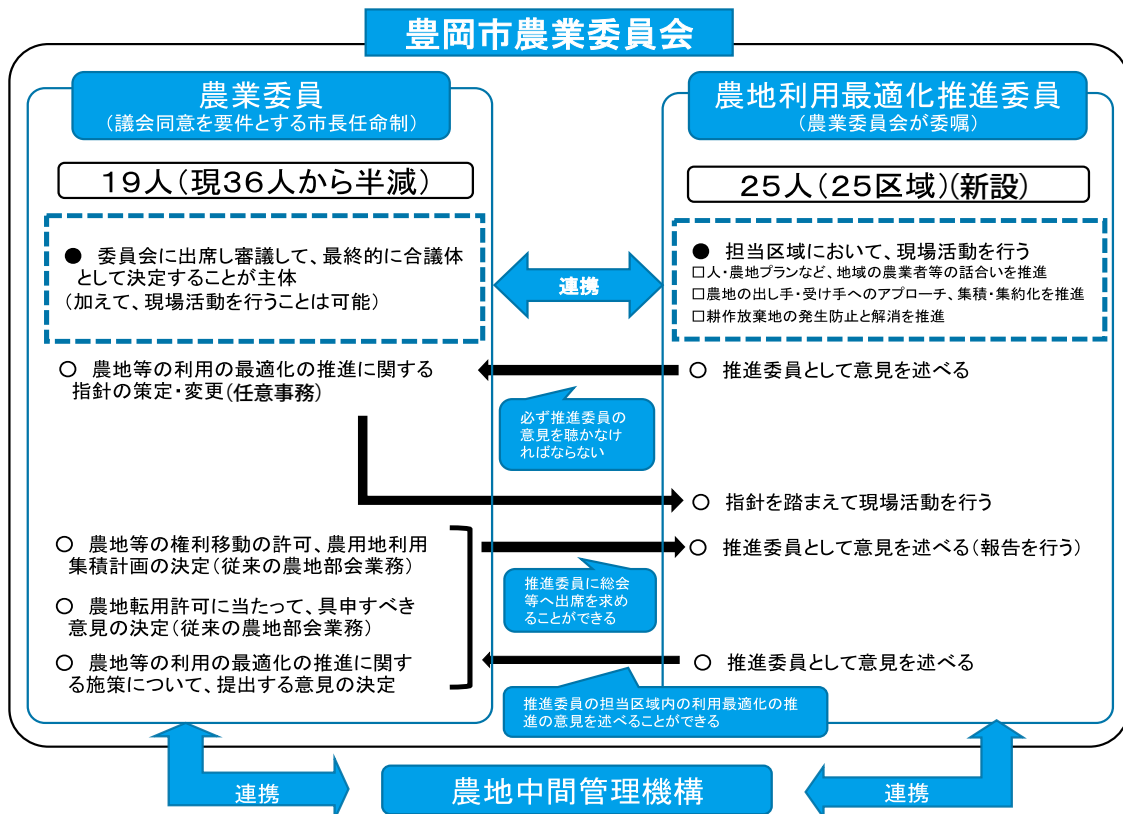
2 農業委員等の新体制について

農業委員の選出方法が、これまでの公選制から、地域からの推薦・公募による選出方法に変わりました。あわせて農地利用最適化推進委員が新設され、平成29年4月21日から新制度に基づく体制がスタートします。

委員の人数と役割は、次のとおりです。



原野化した農地



農地を彼らの将来に残していきます

3 委員等の決定について

農業委員は候補者を選定し、3月議会で同意を得て市長が任命します。農地利用最適化推進委員は農業委員会が選定します。新たな役割を担う農業委員会の活動に、ご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、農業委員・農地利用最適化推進委員の推薦・応募を募集しています。(募集期間：11月15日～12月15日)
詳しくは、市のホームページをご覧ください。

農業委員会活動報告その1

〔担い手育成支援推進活動〕

①「但馬まるごと感動市出張就農相談会」

とき：11月12日、13日
ところ：全但バス但馬ドーム



真剣な相談を受けています

担い手育成支援推進委員会（永井辰正委員長）では、快晴に恵まれた「コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」で初めて「出張就農相談会」を行いました。

ブースの入り口には、ブドウ、サトイモ、大根などを飾り、また、協力いただいた市内の元気な農地所有適格法人や営農組合の紹介パネルを展示、農業委員と農地所有適格法人の社長さん方で相談体制を整えて、来場者を迎えました。



豊岡市の各制度を説明しています

2日間で5名3所帯の就農相談と22件の営農相談を受けました。

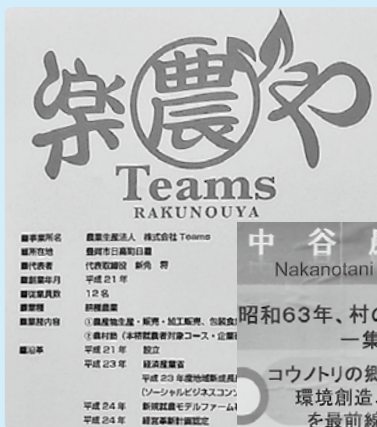
就農相談では、大阪から来ていた若いご夫婦から「豊岡に近いうちに移住し、本気で就農を考えています。」と真剣に様々な質問を受けました。市が行っている『豊岡農業スクール』、『豊岡農業体験』、『若手農家賃支援事業』などの制度や、農業委員の専門としている営農のノウハウなどをお伝えし、相談対応しました。

初めての「出張就農相談会」の試みでしたが、担当した全農業委員は、今後も続けたい、との感想を持ち『行動する農業委員会』としての姿を示すよい機会になったと自負しています。

（村岡峰男委員）



女性にも関心を持ってほしい...



展示パネルの一部です

中谷農事組合法人
Nakanotani Agriculture Corporate Association

昭和63年、村の農家がみんなで
一集落一農場方式の営農組合を設立

コウノトリの郷 人と自然の共生に取り組む豊岡市で
環境創造、耕畜連携循環農業、土地利用型農業
を最前線で実践するエコファーマーです！

主な栽培農産物

②『豊岡農業スクール研修生・卒業生との意見交換会』

とき：8月10日
ところ：シルク温泉やまびこ



豊岡市農業委員会担い手育成支援推進委員会と豊岡農業スクール研修生・卒業生との意見交換会を行いました。

農業委員会からは、平田会長をはじめ担当委員、農業スクール生は、3期生の尾崎雄太さん、卒業した元3期生の能勢明宏さん、4期生の三上裕也さん、そして、兵庫県議会の門間雄司議員にもご出席をいただき、短時間でしたが有意義な話し合いの場となりました。

まず、自己紹介の後、農業委員会の活動内容を紹介して、農業スクール生が日頃の様子を報告しました。

意見交換では、農業スクール生の卒業後の不安な気持ちや、迷いをお聞きしたほか、豊岡農業スクール制度については、補助金、研修内容についての意見や、経理事務や経営についての勉強会をして欲しい、卒業生も研修に参加できないかなどの要望など積極的な意見がありました。また、参加いただいた門間県議、農業委員から出た意見も合わせ、農業スクール生への助言、今後の対応策などを話し合いました。その後、会食をしながらリラックスした雰囲気でお話し、終了となりました。

意見交換会で出た意見については、豊岡農業スクール制度の拡充のために要望をしていきます。

（北垣威司委員）

